

令和7年度業務研究会

参考資料

秋田大学人事課

学部・学科インデックス

情報データ科学部[※]

開設予定

情報データ科学科

100名

学部の特徴

情報データ科学部は、情報学とデータサイエンスを体系的に学び、身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り、新たな価値を創造し実装することができる「デジタル人材」を養成します。情報・データサイエンスの応用分野（研究対象）は、人間情報、防災・エネルギー情報の情報分野のみならず、人間生活の支援を行うロボット分野を内包する全国唯一の情報系学部です。本学部では、高等学校での学びが文系・理系を問わず受け入れ、情報技術・データサイエンスを、自身の得意とする領域で活用し、デジタル社会の構築に貢献できる人材を育成します。

求める人物像

1. 情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身に付けている人。
2. 論理的に物事を考え、自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる人。
3. 情報社会に深い関心と興味を持ち、社会課題の解決及び新たな価値の創造に強い意欲を持っている人。
4. 基本的なコミュニケーション力を備え、多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる人。

取得できる資格

- 高等学校教諭一種免許状（情報）
※申請中
- ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。
- その他、ITパスポート試験や基本情報技術者試験などにも挑戦することができます。

活躍できる分野

- ITエンジニア
（情報サービス、情報通信機器開発など）
- データサイエンティスト
（防災・エネルギーシステム、官公庁・金融・保険分野など）
- システムエンジニア
（ロボット・輸送用機械等の製造業など）

国際資源学部

国際資源学科

資源政策コース

資源地球科学コース

120名

資源開発環境コース

学部の特徴

地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成する教育・研究を行います。

求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人。
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人。
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人。

取得できる資格

- 測量士・測量士補（資源地球科学コース）
- ダム水路主任技術者
- 土木施工管理技士（1級）
管工事施工管理技士（1級）
- 危険物取扱者（甲種）
- 火薬類取扱保安責任者
（資源地球科学コース、資源開発環境コース）

活躍できる分野

- 国際的に活動する資源系会社・商社
- 資源関連の政府系法人
- エネルギーインフラ系企業
- 研究機関
- 資源系大学教員・研究員

教育文化学部

改編予定

学校教育課程	
初等中等教育コース	110名
教育実践プログラム 英語教育プログラム 理数教育プログラム	
特別支援教育コース	
こども発達コース	
地域文化学科	80名
地域社会コース	
国際文化コース	
心理実践コース	

学部の特徴

人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

求める人物像

【学校教育課程】

多様な教育的諸課題に対応できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人。

【地域文化学科】

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人。
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人。
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人。
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人。

取得できる資格

- 小学校教諭・中学校教諭
 - 高等学校教諭・特別支援学校教諭
 - 幼稚園教諭、保育士
 - 認定心理士受験資格(心理実践コース)
- ※公認心理師については、P20をご確認ください。

活躍できる分野

- 学校教員 ●保育士
- 公務員 ●民間企業
- 心理専門職 など

医学部

医学科	95名
保健学科	
看護学専攻	106名
理学療法学専攻	
作業療法学専攻	

※医学部医学科では、令和7年度入試から秋田県内の更なる医師確保のため、学校推薦型選抜に「東北地域枠」を新設します。また、これまでの暫時的な医学部定員増が令和4年度に終了したことに伴い、令和7年度入試における募集人員は、「一般選抜 前期日程45人、後期日程20人、学校推薦型選抜Ⅱ(一般枠)20人、学校推薦型選抜Ⅱ(東北地域枠)10人」となります。現在、「一般選抜 前期日程45人、後期日程(一般枠)20人、後期日程(秋田県地域枠)5人、学校推薦型選抜Ⅱ(一般枠)20人、学校推薦型選抜Ⅱ(東北地域枠)10人、学校推薦型選抜Ⅱ(秋田県地域枠)24人」となるよう申請予定ですが、今後変更となる場合もあります。なお、詳細については決定次第、本学ホームページでお知らせしますので、医学部医学科を志願される方は必ず確認してください。

学部の特徴

豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成することを目的とします。

求める人物像

1. 病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人。
2. 医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人。
3. 素直で協調性に富み、周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人。

取得できる資格

- 医師国家試験受験資格
- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格(選択)※
- 助産師国家試験受験資格(選択)
- 理学療法士国家試験受験資格
- 作業療法士国家試験受験資格

※本学在学中に所定の科目を修得し、かつ国家試験合格により保健師の免許を受けた場合、各都道府県教育委員会へ養護教諭2種免許の申請が可能です。

活躍できる分野

- 医療専門職
- 医学系研究者
- 自治体等の衛生行政
- 国際医療協力 など

総合環境理工学部*

改組予定

応用化学生物学科	
生物学コース	100名
有機・高分子化学コース	
応用化学コース	
環境数物科学科	
数理科学・地球環境学コース	90名
機能デバイス物理コース	
社会システム工学科	
モビリティコース	125名
電気システムコース	
社会基盤コース	

学部の特徴

総合的に科学技術を学び、グリーン社会実現を目指した環境科学技術に関連する教育と研究を強化します。さらに、分野横断教育を強化し、自らの専門性を活かし、かつ、他者と共創して課題を解決できる人材を養成します。

求める人物像

1. 科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人。
2. グリーン社会の実現に興味があり、積極的に自己学習のできる人。
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人。

取得できる資格

※取得できる資格はコースによって異なります。

- 高等学校教諭一種免許状(理科・工業・数学)
 - 中学校教諭一種免許状(数学)
- ※申請中

ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

- 電気主任技術者
- 測量士・測量士補
- ボイラー・タービン主任技術者
- ダム水路主任技術者

活躍できる分野

- 国立・私立の研究機関
- 大学教員・研究員
- 国・地方自治体などの各種公務員
- 民間企業(製薬関連、医療機器関連、食品関連、化学関連、環境関連、情報通信関連、金融関連、半導体・電子部品関連、素材・材料関連、航空機関連、自動車関連、素材関連、電力・再エネ関連、建設関連 など)

※名称は仮称です。現在構想中の内容のため変更の可能性もございます。

大 学 院

より深く、より高度に。それぞれの専門分野のスペシャリストとして、必要とされる豊かな知識と実践能力を養います。

国際資源学研究科 	博士前期課程	資源地球科学専攻 資源開発環境学専攻
	博士後期課程	資源学専攻
教育学研究科 	専門職学位課程	教職実践専攻(教職大学院) 〈教職チャレンジ制度〉 教職実践専攻(教職大学院)での研究を続けながら、教育文化学部の授業を履修することにより原則3年で教員免許状の取得を可能とする制度。学部授業料は無料で1種免許状を取得できます。大学院で所定の単位を修得することで専修免許状の取得も可能です。
	修士課程	心理教育実践専攻
医学系研究科 	修士課程	医科学専攻
	博士課程	医学専攻
	博士前期課程	保健学専攻
	博士後期課程	保健学専攻
理工学研究科 	博士前期課程	生命科学専攻 ●生命科学コース
		物質科学専攻 ●応用化学コース ●材料理工学コース
		数理・電気電子情報学専攻 ●数理科学コース ●電気電子工学コース ●人間情報工学コース
		システムデザイン工学専攻 ●機械工学コース ●土木環境工学コース
	博士後期課程	共同サステナブル工学専攻 ●エレクトロモビリティコース ●社会環境システムコース
博士後期課程	総合理工学専攻 ●生命科学領域 ●物質科学領域 ●数理・電気電子情報学領域 ●システムデザイン工学領域	
先進ヘルスケア工学院 	修士課程	検査・診断支援領域 運動・治療支援領域

教育研究組織

Academic Organization

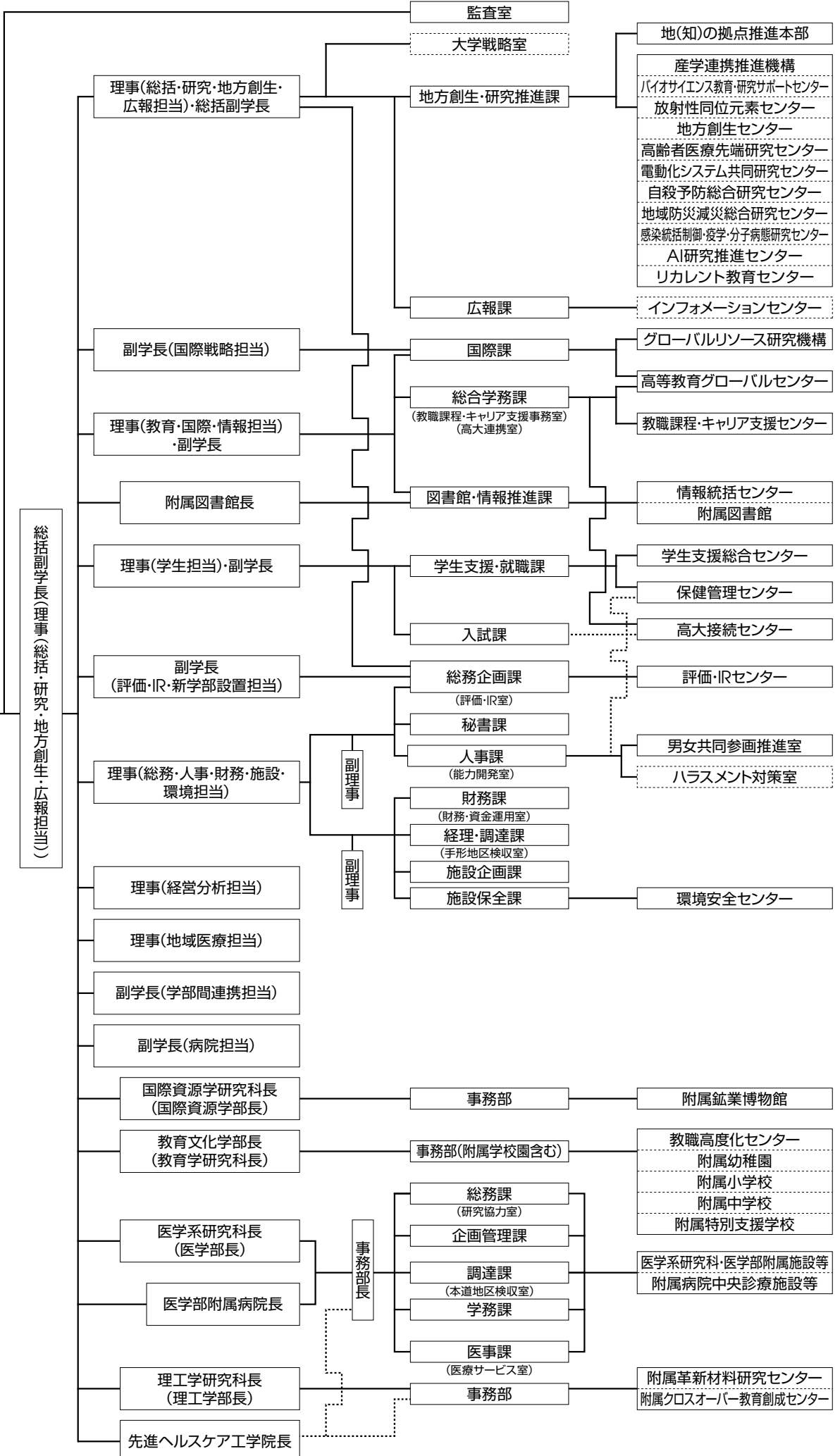
秋田大学
Akita University



事務組織

Administrative Organization

学長



役員数

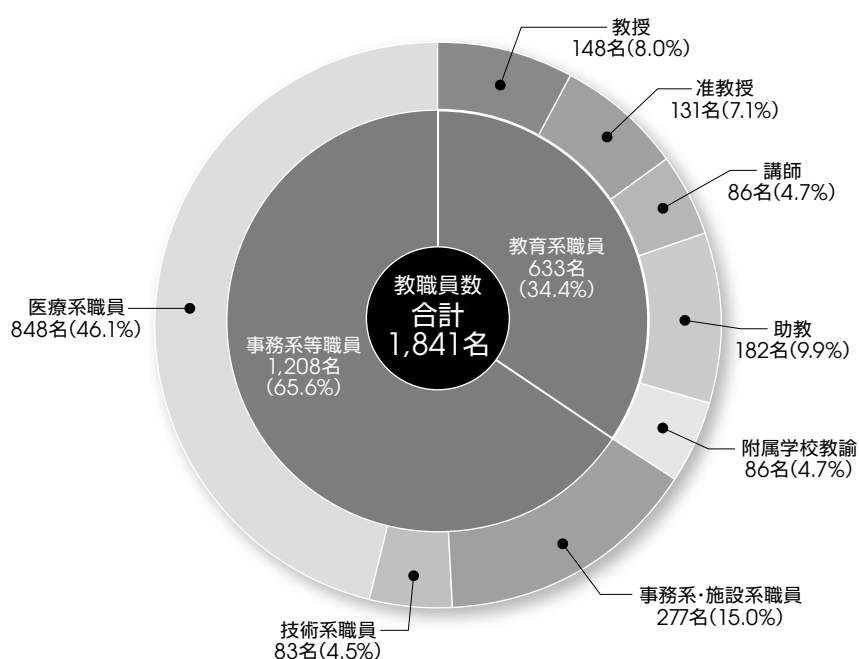
令和6年5月1日現在

区分	学長	理事	監事	合計
学長	1			1
理事		6 (2)		6 (2)
監事			2 (1)	2 (1)
合計	1	6 (2)	2 (1)	9 (3)

※()内の数は非常勤で内数

教職員数

令和6年5月1日現在



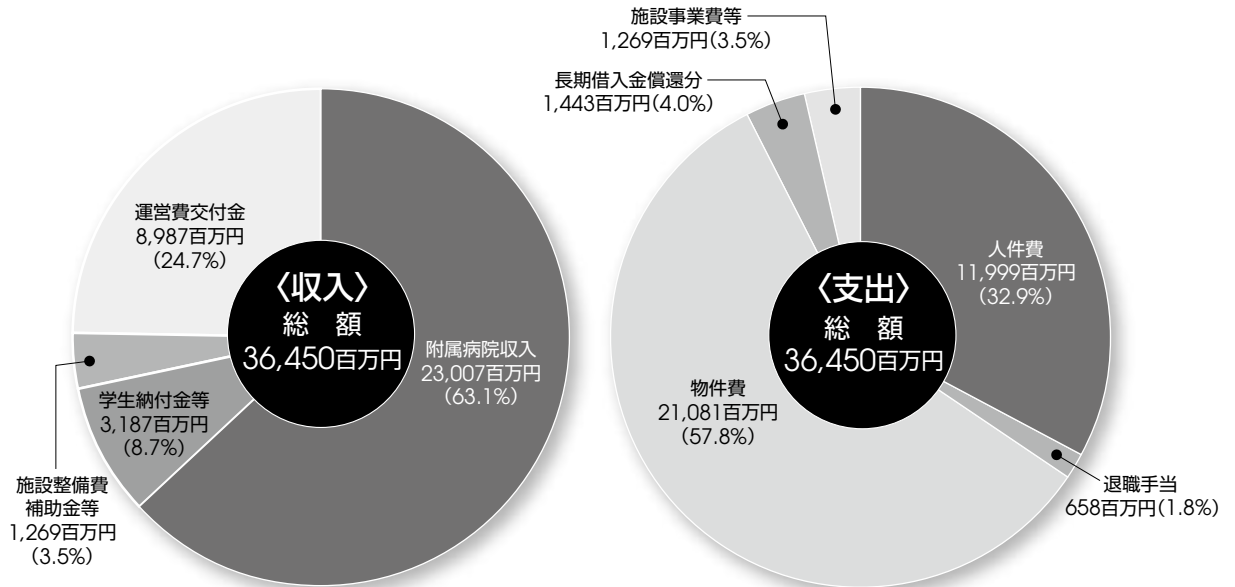
※教育系職員には特任教員を含め、寄附講座等教員を除く。

職別・男女別

令和6年5月1日現在

区分	教授		准教授		講師		助教		附属学校教諭		事務系・施設系職員		技術系職員		医療系職員	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男	131	88.5	114	87.0	65	75.6	118	64.8	43	50.0	150	54.2	56	67.5	184	21.7
女	17	11.5	17	13.0	21	24.4	64	35.2	43	50.0	127	45.8	27	32.5	664	78.3
合計	148		131		86		182		86		277		83		848	

令和6年度予算



※金額は令和6年度予算額であり、上記収入及び支出には、産学連携等研究費及び寄附金に係る経費は含まない。

外部資金 受入状況

単位:千円

名称	平成30年度		平成31年度(令和元年度)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
民間等との共同研究	82	87,869	107	111,282	103	127,930	98	159,827	110	194,068	115	173,718
受託研究	134	337,461	128	311,814	124	303,545	144	319,673	143	295,544	154	410,845
奨学寄附金	749	433,794	733	429,097	690	372,449	603	351,393	593	355,401	567	353,303
寄附講座・部門	3	148,000	2	85,000	2	85,000	2	85,000	3	43,000	4	46,000
合計	968	1,007,124	970	937,193	919	888,924	847	915,893	849	888,013	840	983,866

※受託研究には治験薬試験・病理組織検査・受託試験を含まない。奨学寄附金には教育研究支援基金・みらい創造基金を含まない。

令和5年度科学研究費 助成事業採択状況

単位:千円 令和6年3月31日現在

研究種目	採択件数	交付金額		
		直接経費	間接経費	合計
基盤研究(A)	1	12,800	3,840	16,640
基盤研究(B)	26	99,400	29,820	129,220
基盤研究(C)	157	147,200	44,160	191,360
挑戦的研究(萌芽)	5	9,900	2,970	12,870
若手研究	56	58,700	17,610	76,310
海外連携研究	2	8,900	2,670	11,570
研究活動スタート支援	7	7,400	2,220	9,620
合計	254	344,300	103,290	447,590
研究成果公開促進費(学術図書)	1	800	-	800
奨励研究	13	5,670	-	5,670

※金額は令和5年度交付内定額

アクセス

Access



〈秋田まで〉

令和6年4月現在

東京から	羽田空港—秋田空港(約1時間5分) 秋田新幹線「こまち」 東京駅—秋田駅(約3時間50分)
名古屋から	中部国際空港—秋田空港(約1時間20分)
大阪から	大阪国際(伊丹)空港—秋田空港(約1時間30分)
札幌から	新千歳空港—秋田空港(約1時間)
秋田空港～ 秋田駅間 リムジンバス	秋田空港—秋田駅西口(約40分)

〈秋田駅から秋田大学まで〉

令和6年4月現在

行き先	バス路線(秋田中央交通)	秋田駅前 バスのりば	下車バス停(所要時間)
手形地区	手形山大学病院線	西口⑫番	秋田大学前 (約5～30分)
	秋田温泉線 ※平日のみ	西口⑫番	
	榎山大回り線 ※平日のみ	西口⑨番	
●秋田駅東口より徒歩約15分			
本道地区	太平線	西口⑪番	大学病院前 (約10～20分)
	赤沼線		
	松崎団地線	西口⑫番	
	手形山大学病院線		
保戸野地区	赤沼線	東口②番	原の町 (約5～25分)
	泉八橋環状線 ※平日のみ (八橋回り)	西口②番	
	神田旭野線	西口⑧番	
	添川線		
	泉八橋環状線 ※平日のみ (泉回り)		
榎山大回り線 ※平日のみ	西口⑨番		

